



MAMEZOU
HOLDINGS

各位

2019年1月24日
株式会社豆蔵ホールディングス

Android OS 搭載のハンディターミナルに対応した Biz/Browser HT を 1 月 24 日に正式リリース

～ハンディターミナル“Android 移行時代”に真価を発揮する Biz/Browser～

株式会社豆蔵ホールディングス（証券コード：3756、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 浩二）の事業会社である、株式会社オープンストリーム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉原 和彦、以下 オープンストリーム）は Android OS 搭載のハンディターミナルに対応した「Biz/Browser HT」を、2019年1月24日（木）に正式リリースいたしました。

これにより、Windows OSを搭載したハンディターミナルやAndroid、iOSを搭載したスマートデバイスとのアプリケーションの共有（ワンソース・マルチデバイス）が可能となります。また、Windows OS搭載のハンディターミナルに対応した「Biz/Browser Mobile」をご利用の場合、アプリケーションの大幅な改修を行うことなくAndroid OS搭載のハンディターミナル移行が可能となります。

BiZ Browser[®] HT

■ 開発背景

2007年頃よりマイクロソフト社の組み込み用OS「Windows CE」を採用し、多数発売されたハンディターミナル端末ですが、マイクロソフトは、「Windows CE」の後継である「Windows Embedded Compact 7」のOSサポートを2021年で終了すると発表しています。この発表を受け、ハンディターミナルメーカー各社は、Android OSを搭載したハンディターミナルの開発を進めている状況です。すでにデンソーウェーブ、カシオ計算機からは、Android OSを搭載したハンディターミナルの発売が開始されています。ハンディターミナルを使用している企業は、今後この端末の環境変化にあわせた業務アプリケーションのリプレイスが必須となります。そのような状況を踏まえ、ワンソース・マルチデバイスが可能な Biz/Browser HT を正式リリースいたしました。



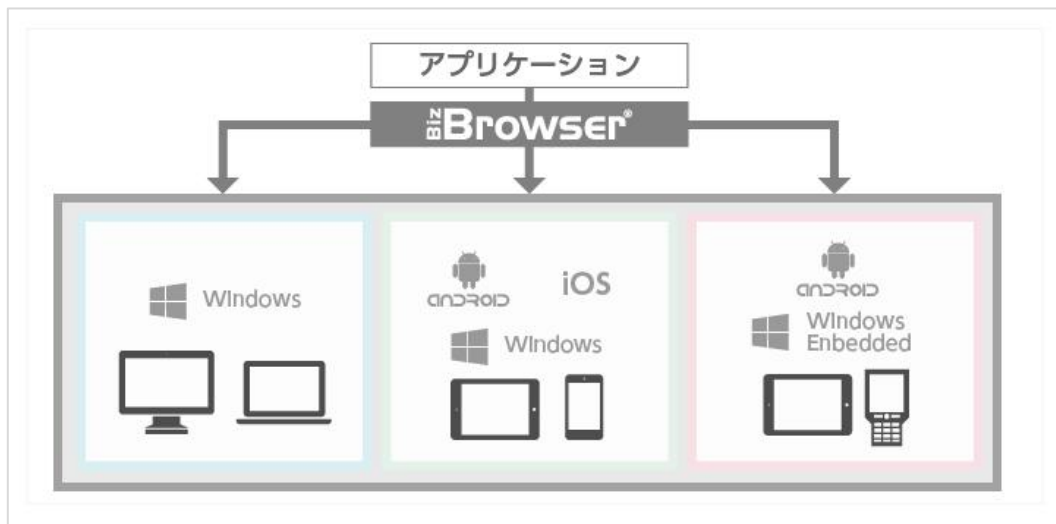
ハンディターミナル OS の変遷

■「Biz/Browser」とは

「Biz/Browser」は、業務システムのためのアプリケーション開発・実行環境です。

「Biz/Browser」でアプリケーションを開発することにより、業務システムで要求される高効率の入力環境を実現する最適なユーザーインターフェース(アプリケーション画面)を提供できます。

また「Biz/Browser」は様々な OS や端末に対応しており、「Biz/Browser」で開発したアプリケーションを、OS や端末にあわせて改修することなく様々な端末環境で動作させることが可能です。加えて端末 OS のアップデートや利用端末機種の変更などによるシステム動作環境の変化を吸収し、業務アプリケーションへの影響を最小化します。これにより業務システムの長期安定稼働を支え、システムの運用負荷・運用コストを大幅に削減します。



多様なデバイスに対応できる Biz/Browser

デバイス	OS	対応製品
PC	Windows	Biz/Browser^{DT}
ハンディターミナル	Android	Biz/Browser^{HT}
	Windows Embedded	Biz/Browser^M_{obile}
スマートデバイス	Windows/Android/iOS	Biz/Browser^{SD}

Biz/Browser 対応製品一覧

■「Biz/Browser HT」の特徴

・快適な操作性・レスポンスとオフラインで動作するアプリケーションの実現

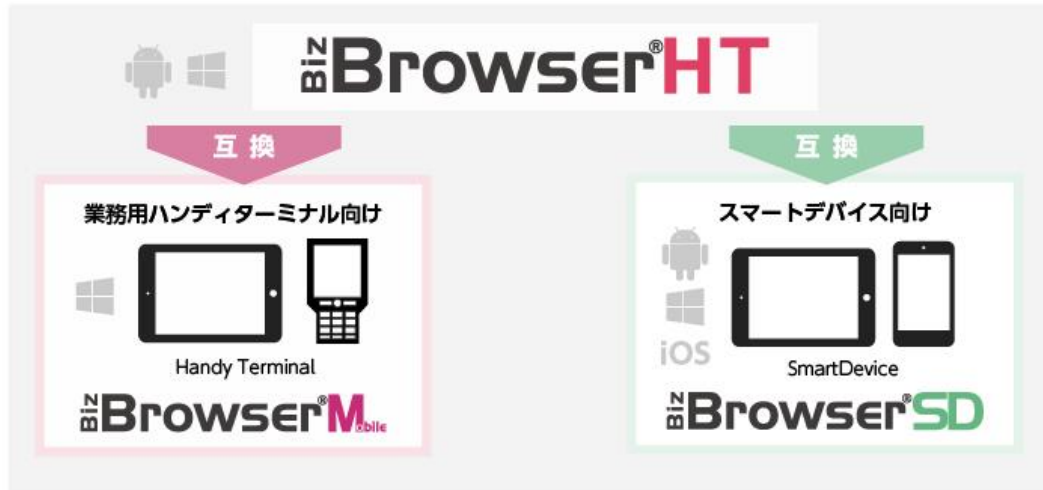
Webアプリケーションでありながらネイティブアプリケーションに匹敵する操作性・レスポンス性を持ち、電波環境の悪いオフライン環境下での運用に対応したシステムを構築できます。

・マルチデバイス・マルチOSアプリケーションの実現

Androidを搭載した多数のハンディターミナル端末をサポートしています。メーカー・機種が異なる端末においても同一アプリケーションの利用が可能です。また、「Biz/Browser HT」は、Windows搭載ハンディターミナル向け「Biz/Browser Mobile」、スマートデバイス向け「Biz/Browser SD」と高い互換性をもっており、「Biz/Browser Mobile」、「Biz/Browser SD」で動作するアプリケーション資産を「Biz/Browser HT」でそのまま利用することが可能です。

・専用開発ツール「Biz/Designer」で簡単アプリケーション開発

Biz/Browserアプリケーションの専用開発ツールである「Biz/Designer」により端末機種・OSを意識することなくアプリケーション開発が可能です。Androidアプリケーションの開発経験がない方でもキー入力・バーコード入力制御はもちろん、タップ・スワイプ等のスマートデバイス特有の操作性を併せ持ったアプリケーションを簡単に開発できます。



Biz/Browser HT互換イメージ

今回の「Biz/Browser HT」の正式リリースに先立ち、流通・小売業、製造業、運送業の企業様を中心に多くお問い合わせを頂いており、株式会社マイプリント様におきましては採用を決定頂いております。

本発表にあたり、採用を決定頂きました株式会社マイプリント様よりエンドースメントを頂戴しております。

株式会社マイプリント様からのエンドースメント

このたび、株式会社オープンストリーム様が、新製品「Biz/Browser HT」を発売されたことを、心より歓迎いたします。マイプリントでは、年賀状印刷事業、婚礼印刷事業における社内基幹システムの全面リプレイスを進めており、オープンストリーム様のマルチデバイス対応 UI プラットフォーム「Biz/Browser」を採用しております。この度、出荷検品システムにて Android ハンディターミナルを新規導入するにあたり、いち早く Android ハンディターミナルに対応された Biz/Browser HT を採用する事で、業務の効率化を図り、お客様への更なるサービス向上を実現できるものと期待しております。

株式会社マイプリント

取締役兼常務執行役員 婚礼事業本部長 野坂 透

また、ハンディターミナルメーカーであるカシオ計算機株式会社様、ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社様、株式会社デンソーウェーブ様、日本ハネウェル株式会社様より、以下のエンドースメントを頂戴しております（50 音順）。

カシオ計算機株式会社様からのエンドースメント

カシオ計算機では、業務用携帯情報端末やハンディターミナルなどの製造販売と併せて、ソリューションとの親和性を確保し安心してご利用頂ける様、株式会社オープンストリーム様との強固な連携と厳正な評価結果のもとでご提供しております。現在、ハンディターミナル市場は、Windows CE 端末から Android 端末への移行が加速度的に進んでおります。今回発表された「Biz/Browser HT」と、当社から発売しております「DT-X400」をはじめとする Android 端末との連携により、業務アプリ開発及び、従来の Windows CE 端末からの移行を助けるより良いサービスをご提供出来ると確信しております。

カシオ計算機株式会社

営業本部 システム営業統轄部 統轄部長 手塚 裕一

ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社様からのエンドースメント

このたび、株式会社オープンストリーム様が、新製品「Biz/Browser HT」を、発表されたことを大変嬉しく思います。

ハンディターミナル市場では、Windows CE 端末より Android 端末への移行が進んでいる中、本発表により、当社端末とのアライアンス関係構築がますます高まると確信しております。

当社は 2011 年に世界で初めて業務用 Android 端末を開発・販売して参りました。

既に 10 機種以上を超える業務用 Android 端末をお客様へ提供しております。今回、当社 Android 端末との連携により、より多くのお客様へ良質なサービスの提供が出来るかと確信しております。

ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

代表 池田 一樹

株式会社デンソーウェーブ様からのエンドースメント

弊社は世界初ハンディターミナル「BHT-1」や「QR コード®」開発などを通じて 35 年以上に渡り業界をリードし、お客様と共に新たな価値を創造しながら時代を切り拓いて参りました。多彩なニーズに対応するラインナップで、これまでに独自 OS 及び Windows 搭載ハンディターミナルを様々な業種のお客様にご採用いただいております。

この度、マルチ OS に対応した株式会社オープンストリーム様の「Biz/Browser HT」と Android 搭載弊社新型ハンディターミナル「BHT-1700（ハードテンキー搭載モデル）」「BHT-1800（大画面搭載モデル）」の連携によって、Android が切り拓く業務革新を構築する環境を更に幅広くお客様へ提供できると確信しております。

株式会社デンソーウェーブ

Android エバンジェリスト 稲垣 慎太郎

日本ハネウェル株式会社様からのエンドースメント

日本ハネウェル株式会社は、株式会社オープンストリーム様が、新製品「Biz/Browser HT」を発売されたことを心より歓迎いたします。

現在ハンディターミナル市場では、Windows CE 端末より Android 端末への移行が進んでいる中、本発表により当社端末とのアライアンス関係構築がますます高まると確信しております。

CT シリーズ、EDA シリーズをはじめとした当社ハンディ端末との連携により、多くのお客様へより良いサービスが提供出来るように技術面・ビジネス面で協業を推進して参ります。

日本ハネウェル株式会社

代表取締役社長 西巻 宏

■ 販売価格（価格はすべて税別です）

【Biz/Browser HT】（Biz/Browser HT 5 ライセンス）

・ライセンス販売モデル

ライセンス：60,000 円

・サポート

製品サポート（プレミアム）年間費用：12,000 円（月額 1,000 円）

製品サポート（スタンダード）年間費用：9,000 円（月額 750 円）

■今後の展望

「Biz/Browser HT」は 2019 年中にさらなる機能強化を予定しています。

Android OS との連携機能強化（GPS、加速度センサー）、ハンディターミナル周辺機器（モバイルプリンタ、決済機器、計量機器等）との連携機能強化による開発生産性の向上、音声入力、OCR 機能といった多様な入力 I/F への対応を予定しています。

そして新たに「Biz/Browser HT」をラインナップに加えることにより、2020 年度末までに Biz/Browser の累計導入社数 3,000 社達成を目指します。

※「Biz/Browser」の詳細については下記ページを参照下さい。

- ・Biz/Browser TOP ページ https://www.opst.co.jp/bizbrowser/product/concept_point/
- ・Biz/Browser HT 製品ページ <https://www.opst.co.jp/bizbrowser/product/bizbrowserht/>
- ・Android OS 搭載ハンディターミナル向けソリューションページ https://www.opst.co.jp/bizbrowser/solution/bizsol_009/

今後もオープンストリームは、製品、ソリューション等を通じて、お客様の業務システム活用促進とそれによる事業拡大と業務改革に貢献してまいります。

【株式会社豆蔵ホールディングス 概要】

所在地 : 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 34 階

設立 : 1999 年 11 月

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 浩二

資本金 : 8 億 8,100 万円

URL : <https://www.mamezou-hd.com/>

【株式会社オープンストリーム 概要】

本社 : 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 9 階

設立 : 2000 年 1 月

代表者 : 代表取締役社長 吉原 和彦

資本金 : 2 億 6,260 万円

URL : <https://www.opst.co.jp/>

※記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本ドキュメントの掲載内容は発表時の内容です。

※画像は全てイメージです。改良のために予告なく変更する場合があります。

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社オープンストリーム プロダクト事業部

TEL : 03-4589-8911 E-mail : product-info@opst.co.jp

問い合わせフォーム : <https://www.opst.co.jp/bizbrowser/contact/>

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社オープンストリーム 業務推進本部

TEL : 03-4589-8800 FAX 03-4589-8810

E-mail : bpd@opst.co.jp